

親子で老いについて話し合っていますか？  
改めて親子で話すことで見えてくる、家族の今・そしてこれからの話。

## Web 動画「親子をつなぐ問診票」公開

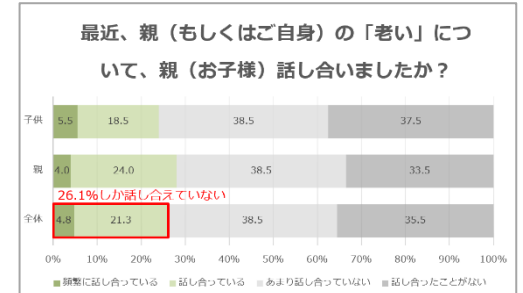
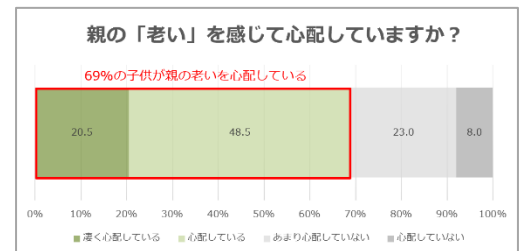
沢井製薬株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：澤井光郎）は、9月11日（火）にWeb動画「親子をつなぐ問診票」を公開しましたのでお知らせいたします。

### 1. Web 動画「親子をつなぐ問診票」制作の背景

今回のWeb動画には、「大切なひとを思う気持ちを、ずっとそばで支えたい」という沢井製薬の願いを込め、親の老いを感じはじめる30代を中心とした子世代に向け制作を行いました。

近年、少子高齢社会が進行し、「健康寿命の延伸」が課題として挙げられるほか、核家族化が進み、親子が互いに時間を割いて対話をする機会が減っているのではないかと問題意識から、4組の親子の会話の様子をじっくりと撮影しました。本動画では、親が自身の「老い」に関わる本音を答えた「特別な問診票」をもとに、親子でじっくりと会話するストーリーとなっています。普段なかなか口にできない親の思いが「問診票」という形で見える化され、思ってもみなかった親の回答に子が向き合うことで、互いの見解をつないでいきます。

公開に先立って行われた「親の老い」に関する意識調査では、69.0%の子供が親の老いを心配だと思う一方、実際に親子で話し合っているのは全体で26.1%という結果になりました。また、親子で話し合っていない理由は、「改めて話し合う機会がないから」という回答が40.2%と最も高く、親の老いに関して話す機会や場が必要なのではないかと考えました。



### 2. Web 動画「親子をつなぐ問診票」について

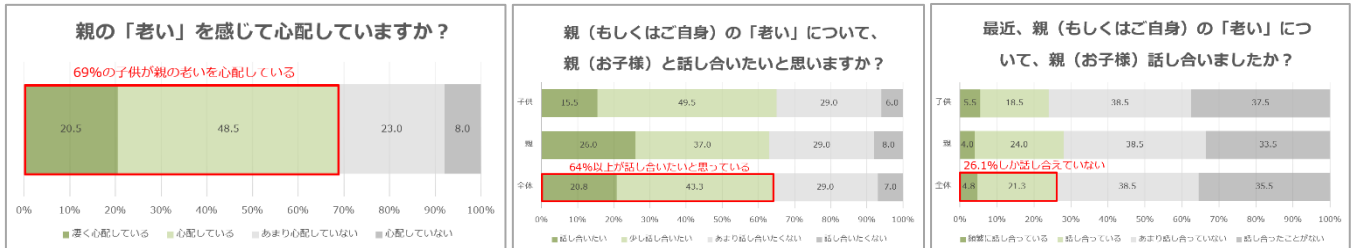
- ・動画 URL : <https://youtu.be/UBPcZ1qLZh8>
- ・サイト URL : <https://www.sawai.co.jp/oyako/>
- ・公開日 : 2018年9月11日（火）
- ・撮影の概要 : ①親が問診票に記入する  
②記入された問診票をもとに親へインタビュー  
③問診票をもとに親子で対談  
④対談終了後、子供にインタビュー
- ・作品概要 : いくつか訪れる、親の老い。どこか不安はあるけれど、考えたくない。  
大人になり親元を離れた子供に、ある日、親から手渡される特別な問診票。親は変わらず、今までと同じように元気に暮らしているはず。でも改めて親の本音を聞くと…。4家族分の思いが語られています。



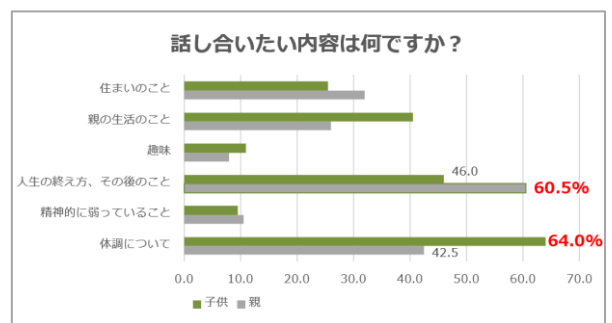
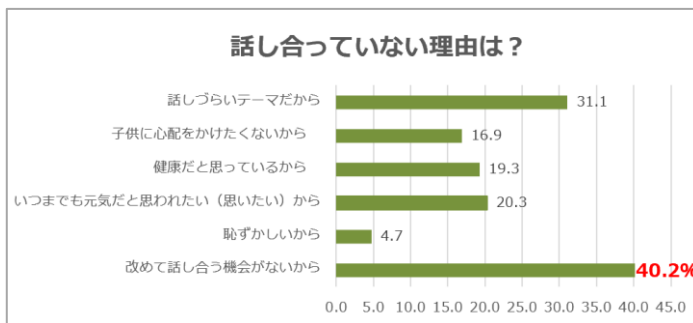
## 【参考】親の老いに関する調査結果

全国の既婚の30代と20歳以上の子を持つ60代の男女400名を対象に「親の老い」に関する意識調査を実施しました。

調査の結果、69.0%の子供が親の老いを心配だと思っており、64%以上がお互い話し合いたいと思っている一方、実際に話し合えている人は全体の26.1%となりました。



また、話し合っていない理由は「改めて話し合う機会がないから」が40.2%と全体の4割を占め、「話しづらいテーマだから」31.1%、「いつまでも元気だと思われたい（思いたい）」が20.3%と続きました。話し合いたい内容については、子どもは親の「体調について」が64.0%、親は「人生の終え方、その後について」が60.5%と親子で大きな差がありました。



### < 調査概要 >

- ・調査エリア：全国
  - ・調査対象者：①既婚の30代男女 ②20歳以上の子を持つ60代男女
  - ・サンプル数：400名
  - ・調査期間：2018年8月16日から8月20日まで
  - ・調査方法：インターネットリサーチ
- \*本ニュースリリースに含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず「沢井製薬株式会社 『親の老いに関する調査2018』 調べ」と明記下さい。

本編のカット画像の提供およびその他お問い合わせにつきましては下記までご連絡ください。

### ◆お問い合わせ先◆

沢井製薬株式会社 戦略企画部 広報・IRグループ  
 TEL：06-6105-5718 / E-mail：[koho@sawai.co.jp](mailto:koho@sawai.co.jp)

【参考】Web 動画「親子をつなぐ問診票」画像

■CASE1：三枝さん親子の場合



父：体力はなくなったねほんとに。目に見えてなくなったね。

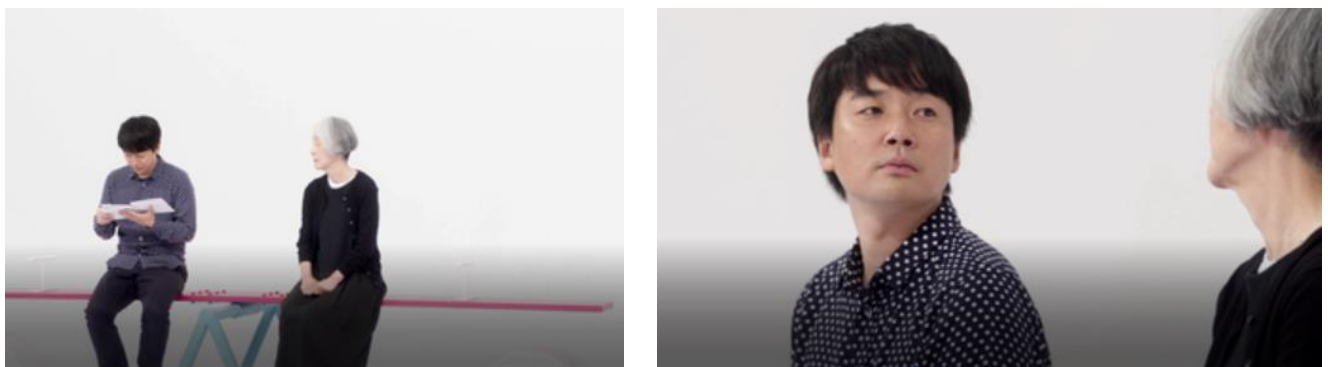


娘：親は「健康で元気な人たち」というイメージしかなかったので、面食らったというか…

■CASE2：山下さん親子の場合



息子：今一人で暮らしていて、寂しいと思う時はありますか？



母：うん、ありますね、やっぱり…

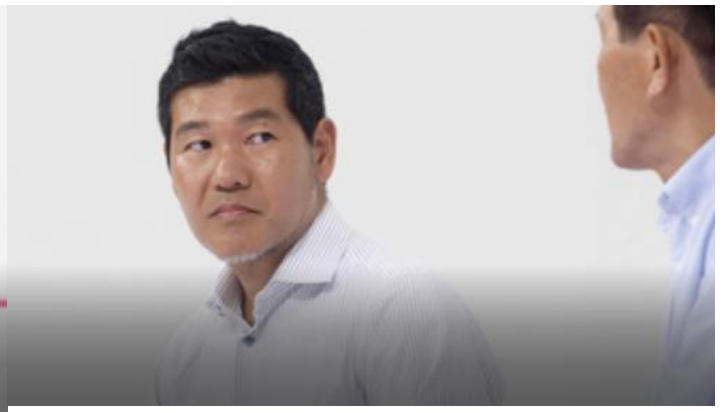
■CASE3：前田さん親子の場合



いま、息子に相談したいことはありますか？

これからの自分たちの事を  
じっくりと話したいなと思うよ。

父：元気なうちに先のことを話しておきたい。



息子：ああそう思ってるんだ、ということに気づけたのは収穫だった。

■CASE4：石田さん親子の場合



身体のこと、不安に思うこと、これからのこと

健康への対策、どんな事をしていますか？

ダンスぐらいかな

母：年取ってから老後のことを相談しても遅いと思うのね。



娘：忙しいっていうのを理由にして、逃げてる部分もあるかもしれない。